

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第5号（イチゴのハダニ類）を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第5号

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 予報内容

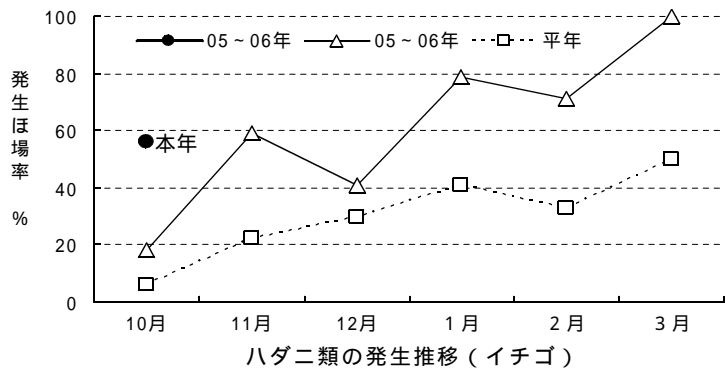
- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 10月下旬に実施した巡回調査では、発生ほ場率が56%（平年6%）と平年より高く、発生程度の高いほ場もみられた。
- (2) 向こう1か月の天候は晴れの日が多く、気温は高いと予報されており、今後も発生しやすい条件が続くと予想される。

表.ハダニ類の発生状況

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数
日置市伊集院	5	4
さつま町湯田・平川	4	2
志布志市有明	7	3
計	16	9(56%)



5 防除上注意すべき事項

- (1) ビニール被覆後は降雨の影響がなくなり、乾燥すると増加しやすくなる。
- (2) ナミハダニの発生が多く確認されている。本虫はカンザワハダニに比べて発生に気付きにくいので、摘葉等の管理作業時に注意深く観察し、発生を認めたら早めに防除する。
- (3) 寄生葉は、ほ場外に持ち出して処分する。
- (4) 防除効果を高めるため、薬剤は下葉かきを行ってから葉裏にかかるよう散布する。
- (5) チリカブリダニ等の天敵を用いる場合は、天敵に影響の少ない薬剤を散布して、ハダニ類の密度を落としてから放飼する。
- (6) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。
- (7) 薬剤によっては、ミツバチに影響があるので薬剤の選定に注意する。